



# 2023 オーストラリア 国際交流研修

## 報告集

### (HP 抜粋版)



2023. 7.22~ 8. 4



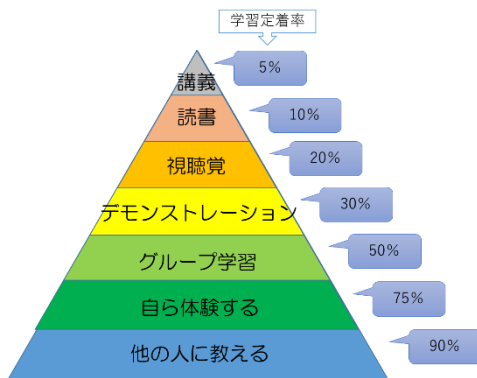
OHTORI HIGH SCHOOL  
100th Anniversary

大阪府立 鳳 高等学校  
国際交流委員会

# 体験するということ

校長 上田 信雄

令和2年2月に流行の兆しを見せ始めた新型コロナウイルス感染症による教育活動への制限は令和5年5月の5類への移行により基本的に廃止となりました。その後も感染者は増減を繰り返しながら完全に無くなったというわけではありませんが、とにかく感染症をさける方向から今後は感染症対策をしながら、積極的に教育活動を進めていく方向に変わっています。本校においても授業や学校行事での制限は基本的に無くなり、保護者の皆さまや地域の方々に学校を学校にお招きし生徒たちの活動をご覧いただけるようになりました。また、生徒たちは部活動や特別活動を通じて学校外での学びの機会を持つことができるようになりました。それは、海外での研修についても同様です。「百聞は一見に如かず」ということわざがあります。授業でもただ聞いているだけではなく、自ら体験し、さらに他人に伝えることで定着率は上がるといわれています。英語を学ぶ上で単に単語や構文を覚えるのではなく、生活の中で聞き、そして自分で使ってみることが大事であることは容易に理解できることでしょう。



From <https://ja.wikipedia.org/wiki/>

しかし、海外に行くということとはそれではないことは、皆さんは十分に感じたことだと思います。結団式の際にも少しお話をさせていただきましたが、オーストラリアの国章にはカンガルーとエミュが描かれています。この二つの動物はいずれもが前向きにのみ進むことができる体のつくりになっており、オーストラリアは建国からの歴史が短い国として前に向かって進む姿を現しているといわれます。この動物たちは、オーストラリアの地理的条件の中で独特の進化を遂げたものたちで他の大陸では見られません。その国の文化や習慣といったものも長い年月の中で、その国で培われたものです。今や、ひとり1台端末が授業で活用され、その気になればインターネットによって海外との交信は容易にできます。しかし、その土地の文化や自然などは行ってみなければわかりません。今回の研修旅行で英語に慣れたことはもちろんですが、実際に現地に赴き、五感を使って全身で感じたことこそが成果ではないでしょうか。

関西国際空港で久しぶりに出会った皆さんは、疲れた表情の中にも達成感が感じられ、少しだけ大きくなったような気がしました。今後の皆さんの活躍に期待しています。

## You only live once. Have confidence and go for your dream!!

MORISHITA Nobuaki

A survey conducted in Japan asked two specific questions: “Do you like English?” and “Do you think English will be necessary in your future? The overwhelming result was that students don’t like English, but they understand English is necessary for them, because English is a *Lingua franca* and a good tool for communication.

So, how can English teachers motivate their students to like English?

Going abroad is one good way to motivate students to like English. Also, going abroad means not only improving one’s English ability but also learning about cultural differences. That is to say, if we simply wish to improve only our English skill, we can do so in Japan, but if we want to experience and learn about real cultural differences, we must actually go to the place and feel them. This is a good motivation for the students and the students who joined this seminar will have gained a lot of motivation.

I teach English to students, and I always have the following important question: How do we study English? One of the good answers is as follows: A lot of people study English, but unfortunately not many can master it. The major reason for this is that they put too much emphasis on learning the rules, and do not practice using them. Learning a language is like learning how to play a game. Rules are important, but just knowing them, cannot make you, say, a skilled tennis player. To be a skilled player, you have to practice many times according to the rules. To master a language, you should read aloud sentences you studied many times, memorize them, reproduce them and use them. As the saying goes, “Practice makes perfect.”

For two weeks, students who joined the Australian seminar could obtain unforgettable memories and experiences and as a result, I surely think that they will foster their minds and become successful people in the future.

Speaking on behalf of Ohtori high school, I believe that this seminar must continue for Ohtori high school students and that there must be a bridge between Australia and Japan. They will never forget the support of their parents, their friends and their buddies in Australia. I thank everyone who supported this seminar from the bottom of my heart. **You only live once. Have confidence and go for your dream!** If you face difficulties in the future, please remember your valuable two-week Australian memories!!



## 2023 オーストラリア国際交流研修 Schedule

- 4月12日(水) 第1回説明会(生徒) 国際交流委員による概略説明  
4月22日(土) 第2回説明会(生徒と保護者) ・業者による説明  
・申込用紙と作文原稿用紙の配布
- 4月24日(月) 申込受付締め切り  
4月26日(水) 選考テスト(Listening、Interview Test/Japanese & English)  
4月28日(木) 参加者決定(応募者に可否を通知、アプリケーションフォーム配布)  
5月12日(金) アプリケーションフォーム提出  
5月13日(土) 第3回説明会(参加決定生徒と保護者)  
・旅行業者から関係書類一式の配布  
・パスポート取得方法、研修内容、旅行代金の支払い、任意保険等の説明
- 5月29日(月) 事前研修① LL 教室(16:00~17:00)  
・自己紹介  
・オーストラリアの気候や文化について
- 6月 5日(月) 事前研修② 鳳ルーム(16:00~17:00)  
・ペアリングの発表  
・日本文化の紹介
- 6月19日(月) 事前研修③ グローバル体験(ECC 国際外語専門学校)(14:00~16:30)  
・空港でのやりとり  
・留学生と英会話  
・ホームステイ体験
- 7月10日(月) 事前研修④ 鳳ルーム(16:00~17:00)  
・いろいろな相槌  
・パフォーマンス決め
- 7月11日(火) 夏合宿前検診  
7月13日(木) 事前研修⑤ 中31教室(16:00~17:00)  
・しおりの内容、その他必要なものや生活上の注意など、最終確認  
・パフォーマンス練習
- 7月21日(金) 結団式 会議室(13:30~)  
・校長出発前挨拶

7月22日(土)~8月4日(金) オーストラリア国際交流研修

- 9月 8日(金) 鳳高祭にて展示発表  
9日(土)

11月 「2023 オーストラリア国際交流研修報告集」発行



<b>Local School:</b>		Sandgate District State High School			<b>Principal:</b>		Mr Andy Stergou
<b>Address:</b>		41 Braun Street Deagon Qld 4017			<b>ESL Teacher:</b>		Andrew Robinson
<b>HOD of Languages</b>		Mrs Veronica Fullard			<b>Tour Liason:</b>		Keiko Robinson
<b>23 Jul (Sun)</b>		<b>24 Jul (Mon)</b>		<b>25 Jul (Tue)</b>		<b>26 Jul (Wed)</b>	
By 8:35		Meet AJSP Tour Liason		Meet AJSP Tour Liason		Meet AJSP Tour Liason	
9.00am - 10.05am		Welcome/School Tour by student leaders library with official administration		English Class Rm M02 in library building		English Class Rm M02 in library building	
10.05am-11.15am		English Class Rm M02		English Class Rm M02 in library building		English Class Rm M02 in library building	
11.15am-11.45am		Welcome morning tea with buddy in Library		Morning Tea with Buddy		Morning Tea with Buddy	
11.45am -12.55am		English Class Rm M02 in library building		English Class Rm M02 in library building		Integration go with buddy to their class work on booklet provided by SDSHS	
12.55pm-1.45pm		Lunch with Buddy		Lunch with Buddy		Lunch with Buddy	
1.45pm - 2.55pm		Integration with Mrs Ikeda Room M02		Integration go with buddy to their class work on booklet provided by SDSHS		Cooking Anzac biscuits with Ms McGoldrick Food Specialisation and Hospitality	
		Return to Host Family		Return to Host Family		Return to Host Family	
<b>29/30 Jul (Sat Sun)</b>		<b>31 Jul (Mon)</b>		<b>1 Aug (Tue)</b>		<b>2 Aug (Wed)</b>	
By 8:35		Meet AJSP Tour Liason		Meet AJSP Tour Liason		Meet AJSP Tour Liason	
9.00 am -10.05am		English Class Rm M02 in library building		<b>Excursion BNE Explorer - Museum, Southbank, Citycat &amp; Train experience from Loading Zone (near Cederwood St)</b>		English Class Rm M02 in library building	
10.05am-11.15am		English Class Rm M02 in library building				English Class Rm M02 in library building	
11.15am -11.45am		Morning Tea with Buddy				Morning Tea with Buddy	
11.45am-12.55pm		Integration go with buddy to their class provided by SDSHS				Farewell preparation	
12.55pm-1.45pm		Lunch with Buddy				Farewell lunch with buddy in Library and farewell speeches ,presents , certificates	
1.45pm-2.55pm		Integration with Mrs Ikeda Rm M02					
		Return to Host Family				Return to Host Family	
<b>29/30 Jul (Sat Sun)</b>		<b>31 Jul (Mon)</b>		<b>1 Aug (Tue)</b>		<b>2 Aug (Wed)</b>	
By 8:35		Meet AJSP Tour Liason		Meet AJSP Tour Liason		Meet AJSP Tour Liason	
9.00 am -10.05am		English Class Rm M02 in library building		<b>Excursion BNE Explorer - Museum, Southbank, Citycat &amp; Train experience from Loading Zone (near Cederwood St)</b>		English Class Rm M02 in library building	
10.05am-11.15am		English Class Rm M02 in library building				English Class Rm M02 in library building	
11.15am -11.45am		Morning Tea with Buddy				Morning Tea with Buddy	
11.45am-12.55pm		Integration go with buddy to their class provided by SDSHS				Farewell preparation	
12.55pm-1.45pm		Lunch with Buddy				Farewell lunch with buddy in Library and farewell speeches ,presents , certificates	
1.45pm-2.55pm		Integration with Mrs Ikeda Rm M02					
		Return to Host Family				Return to Host Family	



## 2023年度 オーストラリア国際交流研修 生徒アンケートの結果について

コロナ禍により、数年、国際交流研修を実施することができなかったが、実施にあたり、事前研修、研修中について、それぞれアンケートを実施した。研修内容の振り返りと、次年度以降の研修につなげていきたい。

アンケート基礎データ：参加生徒20名 提出20名（全員100%）

### A 事前研修について

大変役に立った 45% 役に立った 55%

【主な意見】

- 事前にオーストラリアについて知ることができた
- オーストラリアの食や文化について多くの知識を得られました。  
それが現地で役に立ったのでとてもよかったです。
- オーストラリアのことを先に知ってから行くことは大事だし、何より ECC 外語専門学校で海外の人と話すのは行く前に自信がついたし、もっと勉強しよう！という気持ちにさせられました！！

### B 学んだ学校（Sandgate District State High School）について

大変満足 95% 満足 5%

【主な意見】

- 公立の学校とは思えないくらいとても綺麗で感動しました。
- 日本の教育施設を何とかしなければと思ったほどによかった。
- 決まった教室がないから他学年との関わりも多い気がした。

### C 学んだ学校（Sandgate District State High School）の授業について

大変満足 65% 満足 30% ふう 5%

【主な意見】

- 英語はわからないこともあったが、色々なことを教えてもらえて、日本とは違う教育に触れることができた。
- 日本と授業を比較すると、みんなよく喋るなと思いました。授業に関係のないことをしていた生徒もいましたが、授業がにぎやかになり楽しかったです。
- 全部英語なのでまだ完全に理解するのは難しかった。

### D アクティビティーについて

大変満足 75% 満足 25%

【主な意見】

- 日本には絶対に体験できない様々なアクティビティーをたくさんさせてもらって人としても成長できたと思います。また、これを通して多くの人と関わることができた。
- KFC や、遠足が特に楽しかった。
- 色々なところに連れて行ってもらえて、自由時間もたくさんあってとても良かったです。

## E ホストファミリーについて

### 1 与えられた部屋について

大変満足 70% 満足 15% ふうふう 15%

#### 【主な意見】

- 2人部屋。広くて快適。ハンガーも用意してくれて、何も不満はありませんでした。しいていえば、何を使ったらいけないのかの説明が足りず、最初の数日は怖かったです。
- 1人が生活するには十分すぎる広さでとても綺麗にしてくれていました。特に虫がいたわけでもゴミが散乱していたわけでもなく、とても綺麗に掃除されていました。
- 1人ならひろびろ使えますし、2人でも困ることはない広さでした。

### 2 朝食について

大変満足 45% 満足 35% ふうふう 20%

#### 【主な意見】

- とてもおいしくて質の良いものを提供していただいた。でも少し量が少なくて腹持ちが悪かった。
- 朝はパンが多かった。量はちょうどよかった。美味しく食べられた。
- 美味しかったです。毎朝はパンとシリアルだったのですが、たまにベーコンやトマトなどとマフィンといった特別なご飯も作ってくれました。量は少し多かったです、ランチが少ないので適量だと思います。

### 3 昼食について

大変満足 70% 満足 20% やや不満 10%

#### 【主な意見】

- 昼食は学校がある日はサンドイッチ、休みの日はハンバーガーと BBQ でした。量もちょうどよかったし、すごく美味しかったです。
- サンドイッチを作ってくれた。毎日中身が違うように作ってくれた。
- 半分以上がお菓子でびっくりした。サンドイッチにりんごにお菓子。

### 4 夕食について

大変満足 65% 満足 25% やや不満 5% かなり不満 5%

#### 【主な意見】

- ほとんど外食に連れて行ってくれました。外食は日本にあるようなものを食べるのが多くて、お寿司も食べました！家で食べるときは、オーストラリアらしい食べ物を作ってくれたりしました。例えばミートパイなどです。
- 毎日いろんな種類の料理を出してもらって満足！でも少し量が少なかった。
- 辛かった。毎日がカレーだった。辛くないものに変わったと思ったら、量がとても少なかった。

### 5 お風呂やシャワーの使用

#### 【主な意見】

- 特に指定はなかったですが、あまり水を使わないようにと言われました。
- シャワーは3分と言われていたので、少しでもシャワールームにいる時間を短くしようと、服は最低限の物以外はすべて脱ぎ、顔は洗面所で洗うようにした。（それでも5分はかかってしまった）
- 何も言われなかった。ドライヤーに関しても髪を乾かさずにリビングに戻ると、「風邪をひくから髪を乾かしなさい」と言われるくらいだった。

## 6 洗濯について

### 【主な意見】

- ・滞在期間中に1度だけでした。持っていく衣服の量が少なかったのもあって少し不快でした。汚れた服は、洗濯してほしいもの用のカゴに入れるといったルールでした。
- ・休みの日に服を全部あらってもらいました。
- ・2週間の間、1回だけ洗濯をしていただいた。

## 7 送迎について

### 【主な意見】

- ・車で10分もなかったと思います。
- ・ホストファーザーが毎日車で送迎してくれた。家から学校までは15分かからなかった。
- ・小型バスに乗る駐車場までは半分くらいの距離を歩く日がほとんどだったが、そこまで遠くは感じなかった。

## 8 休日の過ごし方

### 【主な意見】

- ・「～したい」と言ったら、その場所に連れて行ってきて、体験することができたので、楽しく過ごすことができた。
- ・ホストファミリーの親戚や息子の家でBBQをしたり、ゲームをしたりして過ごした。
- ・ビーチやショッピングモールに連れて行ってもらいました。仕事もあったそうなので、午後からは部屋でゆっくりしていただいと言われました。

## 9 何かお手伝いはしましたか

### 【主な意見】

- ・一緒にご飯を作ったり、ホストファーザーの仕事の場で簡単な料理を作ったり、お客さんへ食べ物を配ったりした。
- ・しようとする態度は見せるようにしていたが、断られたのでしていない
- ・あまりしていません。手伝おうとしても休んでいてと言われてしまいました。

## F 全般

### 1 お土産は何を持っていきましたか

- ・手ぬぐい、お箸とヘアバンド、けん玉、折り紙、和柄の手ぬぐい、ヨーヨーとこけし型に折った折り紙、扇子

### 2 小遣いはいくら持っていきましたか

- ・500ドル（複数回答）、400ドル（複数回答）、300ドルとプリペイドカード（3万円分）

### 3 実際に現地でいくら使いましたか

- ・250ドルくらい（複数回答）、400ドル、450ドル

### 4 現地に持っていくと便利だったもの、不要だったもの

- ・便利だったもの・・・サングラス、サンダル、目薬、保湿剤、上着、マイボトル、  
ドライヤー、ハンドクリーム、リップクリーム、S字フック

不要だったもの・・・マスク、タオルは2、3枚で十分、無駄に多い服、クロームブック、学校の宿題、変圧器

### 5 現地で困ったこと

- ・自分が伝えたいことが英語にするのが難しい。相手の言っていることがわからないことがあった。小銭に使い方が。日本食シック。気温差があった。



## <来年度の参加者へのアドバイス>

・100%自分にとって良い経験になります！自ら積極的に英語を学び、様々な体験を心の底から楽しんでください！

・まず、荷造りは用意していたのに足りなかったり逆に多すぎて困ったり。結局どう荷造りしても後悔します。あまり気負わないように、先生の言う通りにしておけばなんとかなります。それに、買いに行きたいと言えばホストファミリーが連れて行ってくれます。

20人の仲間がいます。日本語を母国語にしている仲間として、みんなワイワイ仲良くなって、支え合って2週間を共にすごします。引率の先生も添乗員の方もいます。困ったことやしんどいことがあったら相談することが出来ます。現地にも英語を話す友達が出来ます。みんな真摯に話をきいてくれて、伝わる言葉も伝わらない思いもありますが、きっと支えになるでしょう。心配しないで。最後に、喋れなくても、とにかくトライしてみたらみんな優しく、よく聞いて答えてくれることがほとんどです。嫌だとか、恥ずかしいとかで挑戦のチャンスを逃すより、やってみて間違えた方がいい。こういうのは楽しんだ者勝ちだと心から感じました。文化の違い、日本の良さとおーストラリアの良さを肌で感じて、それを自分にそして周りの人達に活かせるように、楽しいと思ってみてください。そうすればしんどかったことが楽しくなったりするものです。後悔したことも、しんどくなることも、日本が恋しくなることも多い旅ですが、それよりも楽しかったという気持ちが勝ってしまう旅でした。みんなも楽しんでください。

・英語力よりコミュニケーション力の方が断然必要！恥ずかしがらずに、文法なんてほっといて、とりあえず単語並べて喋ってみると意外と伝わる！

・話そうとしたら絶対聞いてくれるからできるだけ話すことあとはニコニコしていたら周りが寄ってきてくれる

・荷物は最小限に抑えて、持って帰れるお土産を多くできるようにすることと、どんなに何を言っているかわからなくても聞こうとすること、話そうとすることは相手に無礼な態度をとることを避けられるのでおすすめします！！

・絶対にいい経験になるから絶対行った方がいい

・洗濯は定期的にしかしてくれないから、選択しにくい服(カーディガンやジーパンなど)は少なめにしておいた方がいい。

・落とし物には気をつけましょう！

・何か家族や学校、友達、部活など、しょうもないことでもいいので会話をするためのネタを考えてから留学に行ったほうが良い！あと、英文法よりも単語を勉強したほうが良い！！

・不安がらずに積極的に話すべき。

・もし現地の学校に行くなら手紙を書けるセットをもっていくべき。行く前にお金の使い方をマスターしておいたほうがいい。

・事前準備は徹底的にしてほうがいい。

・下手な英語でもみんな絶対に聞いてくれるので怖がらずしゃべる。

・なんとかジェスチャーとかをしながら話すより相手もわかりやすい。チャレンジしてみることが大切。

・楽しむべきです。

・プリペイドカードは必ず持って行く！

・海外では間違っても全然大丈夫だし、笑われることもないので、恥ずかしがらずに自分から積極的に話すといいですよ！！

### 【3年代表生徒 感想英文及び日本語】

I went to Australia for a two-week language training.

At first, I was taking it easy without thinking anything in particular, but the moment I met my host family, anxiety suddenly poured in. I wondered what kind of people they were. If I failed in communication, I thought I wouldn't be able to breathe. But I was relieved that it was over.

It's great to be able to understand the language. It was two weeks that I couldn't help but feel that way. To tell the truth, I didn't want to come back. If I had to say, I only have feelings for Japan because I missed Japanese food. I still can't forget the days I spent in Australia. There is no noise full of greenery, and I still want to go back to those days when I went to school in the morning while breathing the dry cold air of winter and spend time surrounded by a lot of people. But I can't go back. If you close your eyes, what floats is the night around the table with the host family and the floor where other cats are lying down. I can't thank the host family enough for being good to us who didn't tell left from right. I'm sure it was a challenge that I was able to overcome because I had that family. I sincerely hope that there will be eternal happiness in that family. What I learned in Australia this time is diversity and individuality. There were a lot of people. Everyone accepted everyone. It was a kind place. I was allowed to stay in such a good environment that I could only think it was fun. I can't help feeling that my self-affirmation was rising when I was there. Perhaps if I hadn't had this experience, I would have been rotten in my home country. When I think about it, I feel a bad sweat on my spine.

It was a golden experience that could be called a jailbreak. I want to build my own tomb in Brisbane.

オーストラリアへ2週間語学研修へ行った。

最初は特に何も思わず気楽に構えていたがホストファミリーと顔合わせをする瞬間、唐突に不安が押し寄せてきた。どんな人なのだろうかとヒヤヒヤした。もしコミュニケーションに失敗したらこの先息ができないと思った。でも杞憂に終わって安心した。

言葉が通じるって素晴らしいことだ。そう改めて感じざるを得ない2週間だった。本当のことを言うと帰ってきたくなかった。強いて言えば日本食が恋しかったくらいしか日本に未練がない。オーストラリアで過ごした日々が未だに忘れられない。緑が溢れ雑音はなく、朝、冬の乾燥した冷たい空気を吸いながら登校し沢山の山の人々に囲まれて過ごすあの日に今でも戻りたい。でも戻れない。目を閉じれば浮かぶのはホストファミリーたちと一緒に食卓を囲んだ夜と他所の猫が寝そべっている床。右も左も主張できない私たちに良くしてくれたホストファミリーには感謝してもしきれない。きっとあの家族がいたから乗り越えられた研修であった。あの家族に未永く幸せがあることを心から願っている。

私が今回オーストラリアで学んだのは多様性と個性。色々な人がいた。誰もが誰をも受け入れていた。優しい場所だった。楽しいとしか思えない程に良い環境に居させてもらった。あそこにいると自己肯定感が上がっていた気がしてならない。おそらくこの経験がなかったら私は母国で腐っていたかもしれない。そう思うと背筋に嫌な汗を感じるまさに脱獄と称してもいいほどの黄金体験だった。墓はブリスベンが良い。



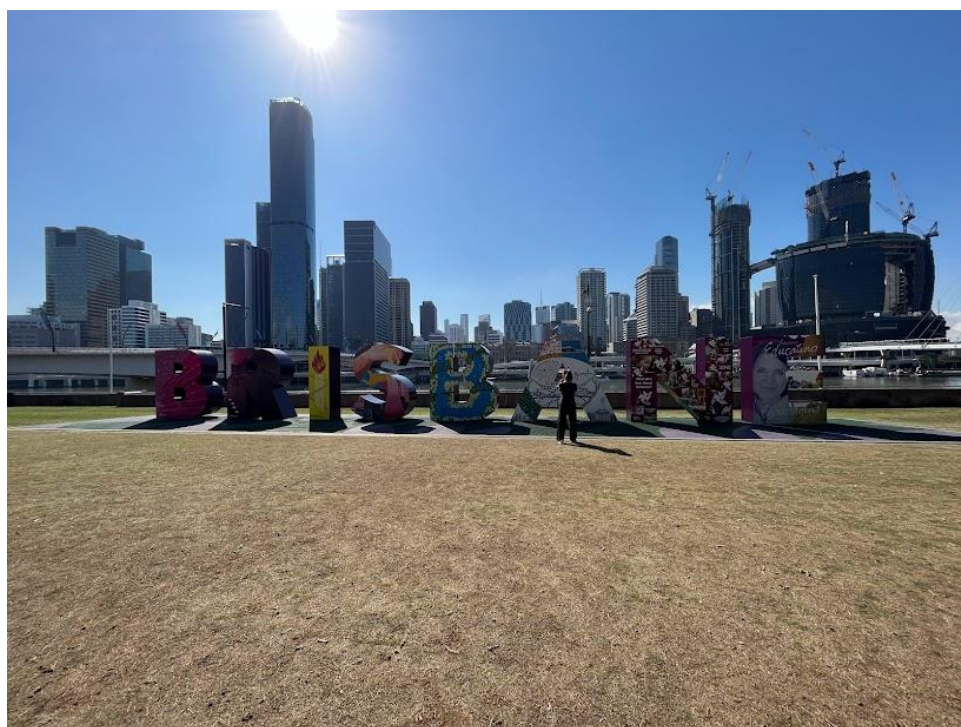
【2年代表生徒 感想英文及び日本語】

I was able to learn many things during this training in Australia. I learned a lot about English skills and cultural differences, as well as many other things.

One is that I live with the support of many people.

The Australians tried to understand me even though I couldn't speak English properly, and they spoke slowly using simple English so that I could understand. At first, I was full of anxiety and was always nervous. At times like that, my host family and school friends were really kind and treated me well, and thanks to that, I was able to do my best.

I also realized the importance of taking on challenges myself. At the local school, I was always nervous to speak up. However, I was able to take a step forward and make new friends. I felt that even if you don't have confidence in yourself, you can grow further by taking on more and more challenges, and that's how you can gain confidence.



私は今回のオーストラリア研修で様々なことを学ぶことができました。英語力や文化の違いはもちろん、他にも多くのことを学びました。

一つは沢山の人に支えられて生きているのだということです。

オーストラリアの方たちは私が正しく英語で喋れなくてもどうにか理解しようとしてくれたり、私が理解できるように、簡単な英語を使ってゆっくり喋ってくれました。最初、私は不安でいっぱいでも緊張して言いました。そ

んなとき、ホストファミリーや学校の友達は本当に優しく接してくれて、そのおかげで頑張ることができました。

また、自分からチャレンジしていくことの大切さもあらためて実感しました。現地の学校で自分から喋りかけるのはいつも緊張していました。でも、そこで一歩踏み出すことができ、新しい友達を作ることができました。自分に自信がなくても、どんどんチャレンジしていくことでさらに成長することができ、そこで自信もつけていくことができるのだと感じました。

【1年代表生徒 感想英文及び日本語】

My two-week homestay in Australia has been my most valuable experience of the last 15 years. My host family allowed me to experience so many different things that I couldn't do in Japan. On my days off, I watched movies that were neither subtitled nor dubbed in Japanese and helped my host father with his work.

Australia is a country with a lot of immigrants, my host mother was Thai, and my host father was a New Zealander. But I thought it would be nice to have a world where people don't have to worry about racial distinctions.

The school is also very different from Japan, and the classrooms are not fixed, so everyone got along well beyond the grade, and I was able to communicate with various people. My English is imperfect, and it must have been difficult to understand, but my buddy tried hard to help me understand.

私のオーストラリアへの2週間のホームステイはこの15年間で最も貴重な経験となりました。私のホストファミリーはとても様々な日本では出来ないような経験を私にさせてくれました。休日には日本語の字幕も吹き替えもされていない映画を見たり、ホストファザーの仕事の手伝いをしたりしました。

オーストラリアは移民がすごく多い国家で、ホストマザーはタイ人、ホストファザーはニュージーランド人でした。でも、みんなそんなことは関係なく、人種というものに区別されない世界はやっぱり素敵だと思いました。

学校も日本とは大きく違い、教室が固定では無いので、学年を超えてみんなが仲良く、様々な人とコミュニケーションを取れました。私の英語は不完全で、本当に理解が難しかったはずなのに、バディの子は頑張って理解しようとサポートしてくれました。



# Photo Gallery







